

令和7年5月23日
危機管理部

備蓄物資管理業務委託について

1 主旨

令和6年11月13日の環境・災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会で報告した避難所生活者用備蓄物資等の管理業務の外部委託について、進捗状況を報告する。

2 委託事業者の選定

公募型プロポーザルにより、以下のとおり事業委託候補者の選定を行い事業者を決定した。

(1) 事業の目的

物資管理や配送等の専門知識を有する物流事業者等に平時の防災倉庫等の備蓄物資管理業務を委託し、その専門的な知見を最大限活用することにより防災倉庫内の最適化及び物資管理業務の効率化・省力化を図るとともに備蓄物資の情報を共有・更新できる体制を構築する。

(2) 主な委託内容

- ① 備蓄物資の納品・回収
- ② 備蓄倉庫等の整理・見直し
- ※ 避難所運営用防災倉庫16か所、広域用防災倉庫全16か所、合計32か所実施。3か年で全倉庫の最適化を完了予定。
- ③ 資機材の点検作業
- ④ 棚卸
- ⑤ システム管理、台帳管理

(3) 選定結果

選定委員会を設置し、提案書の書類審査、プレゼンテーション審査の採点結果に基づき事業委託候補者を選定した。

① 選定事業者等

- ア) 事業者名：J Pロジスティクス株式会社
- イ) 所在地：東京都千代田区大手町2丁目3番1号
- ウ) 代表者：代表取締役 安達 章

② 主な選定理由

- ア) 他自治体の同様の事業を受託した実績があり、その経験をもとに、業務の実施体制をはじめとする実行性が高い提案がなされたことが評価できる。
- イ) システム及び台帳管理の方法について、効率が良く、正確性が高い内容の提案がなされたことが評価できる。
- ウ) 災害時における物資配送の協力・連携におけるリソースの確保について、実行性が高い提案がなされたことが評価できる。

(4) 履行期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

※ 履行が良好であることを条件として、令和8年度、9年度についても同選定事業者と年度ごとに随意契約を行う予定である。

(5) 契約予定金額

89,437,700円(税込み)

(6) 災害時協力協定の締結

委託事業者とは災害時協力協定を締結し、災害時には備蓄・支援物資のデータ情報を一元管理し、物資供給におけるオペレーション及び配送等に専門的知識を活用することで、災害時の物資供給の迅速性と確実性を向上させる。

(7) その他

「災害時物資配送計画」に基づき、実動訓練を行う。

4 今後のスケジュール(予定)

令和7年	5月	～	令和7年	10月	広域用防災倉庫(16か所)の整理
令和7年	6月				委託事業者との災害時協力協定の締結
令和7年	6月	～	令和8年	3月	備蓄物資の更新・保守点検・倉庫清掃等
令和7年	8月	～	令和8年	2月	避難所運営用防災倉庫(16か所)の整理

参考

令和6年11月13日
危機管理部

避難所生活者用備蓄物資等の管理業務の外部委託について

1 主旨

避難所生活者用備蓄物資等の管理及び災害時の備蓄・支援物資の供給について、物流事業者等の専門性を活かした効率化・省力化、災害時の体制強化を図るため、物資管理業務を外部に委託する。

2 現状と課題

(1) 平時について

平時からの備蓄物資の管理にあたっては、指定避難所（96か所）及び広域防災倉庫（16か所）を危機管理部、各総合支所が管理しているが、これまでの大規模災害の教訓や物資のニーズの多様化等により、備蓄物資の品目・数量が増加している。これに伴い、物資の購入や入れ替えにかかる職員の業務量も年々増加しており業務の効率化・省力化を図っていく必要がある。加えて、防災倉庫内の整理等によるレイアウトや収納の最適化も必要である。

(2) 災害時について

災害時の避難所等への物資供給は、地域防災計画（令和3年修正）及び震災時職員行動マニュアルにおいて、区職員及び災害時協力協定締結事業者が行うこととしているが、より迅速かつ確実な物資供給オペレーションや配送等における専門性を高めて体制をさらに強化する必要がある。

3 課題解決に向けた業務の外部委託等の取組み

(1) 平時について

物資管理や配送等の専門知識を有する物流事業者等に平時の防災倉庫等の備蓄物資管理業務を委託し、その専門的な知見を最大限活用することにより防災倉庫内の最適化及び物資管理業務の効率化・省力化を図るとともに、備蓄物資のデータ情報を区の総合防災情報システム及び国の物資調達・輸送調整等支援システムへ反映し、備蓄物資の情報を共有・更新できる体制を構築する。なお、避難所生活者用とは別に教育委員会により区立小・中学校に保管している教職員・生徒用の備蓄物資の一元的な管理についても検討を進める。

(2) 災害時について

委託事業者とは災害時協力協定を締結し、災害時には備蓄・支援物資のデータ情報を一元管理し、物資供給におけるオペレーション及び配送等に専門的知識を活用することで、災害時の物資供給の迅速性と確実性を向上させる。

(3) 委託の概要

① 主な委託内容

- ア) 防災倉庫内の備蓄物資の納品・回収・廃棄（物資の更新、保守点検、配置換え等）
- イ) 防災倉庫内の備蓄物資の棚卸（リスト一覧・レイアウト作成）
- ウ) 区・国の各システムの備蓄物資データ管理・更新
- エ) 防災倉庫内の清掃
- オ) 備蓄物資管理業務における課題抽出および改善提案、打ち合わせ

② 事業者選定の方法

受託者はプロポーザル方式により選定するものとする。

③ 開始時期 令和7年度

④ 必要経費 令和7～9年度 95,000千円/年

令和10年度以降 53,000千円/年

※ 令和6年度時点の防災倉庫数及び備蓄物資量に基づき積算

<内訳>

区分	内訳	経費（千円）
初期経費 (令和7～9年度)	防災倉庫内の最適化及び備蓄リスト・レイアウトデータの作成（年間38か所程度）	42,000 (/年)
経常経費 (令和7年度以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄物資の納品・回収・廃棄等 ・ 防災倉庫内の整理 ・ 資機材の保守点検 ・ 区・国の各システムの物資データ管理・更新 ・ 課題抽出及び改善提案、打ち合わせ 	53,000 (/年)

<参考>

※ 外部委託のイメージは別紙のとおり。

4 今後のスケジュール（予定）

- 令和6年12月 備蓄物資管理業務委託事業者の選定にかかるプロポーザル開始
- 7年 3月 事業者選定
- 4月～ 備蓄物資管理業務委託の開始
災害時協力協定の締結